



教授

【専門領域】

星 克司

身体障害領域作業療法

ほし かつじ

作業療法学科

研究・実務の業績

1. 星克司：居住支援ガイドブック－福祉用具を利用した住みやすさへの支援、作業療法ジャーナル39巻7号，三輪書店，2005，P695-701
2. 星克司（共著）：生活場面からみた福祉用具活用術－リウマチの人への福祉用具導入事例，中央法規出版，2006，P86-91
3. 星克司：職能訓練におけるOTの役割－肢体不自由者更生施設における経験より第26回日本作業療法学会，1992
4. 星克司：家屋調整指導の時期及び指導内容について－当センターにおける事例よりの検討，第32回日本作業療法学会，2003

学生へのメッセージ

長年、身体機能の作業療法を中心に関わってきました。急性期病院を経て転院してきたばかりだったり、病院のリハビリテーションを経て障害者施設で社会復帰を目指したり、家庭において新たな生活を構築しようとしたりする人がいました。最初は不安で元気のない表情の皆さんが、作業療法士として接するうちに明るく、生き生きと変化することを経験してきました。

それぞれの人が自分の人生の目標に向かって主体的に歩き始めます。作業療法士はそれをお手伝いし、一緒に考え、悩み、笑い、作業療法士も共に成長していきます。

作業療法士を目指した皆さんが、それぞれ経験した最初の一步、きっかけという“つぼみ”を、現場で活躍する作業療法士という“大輪の花”に育てるお手伝いができればうれしく思います。